

## 平成28年度公立学校教員採用選考試験の実施について

### 1 選考試験について

#### (1) 第1次試験

日程	7月22日(水)～7月25日(土) ※最終日は予備日
会場	勝山中学校、道後中学校、松山北高等学校
試験内容	筆記試験(一般教養及び教職専門科目、専門教科・科目)、 実技試験、集団討論・面接試験

#### (2) 第2次試験

日程	9月2日(水)～9月4日(金)
会場	中予地方局、県庁会議室
試験内容	適性検査(内田クレペリン検査)、筆記試験(小論文)、 面接試験(場面指導含む)

### 2 今年度の改善点について

#### (1) 加点の変更

##### ① スポーツの分野での指導者としての実績を評価する加点の導入

中学校又は高等学校を受験する者のうち、中学校又は高等学校の部活動で全国規模の大会に出場した指導実績のものについて、50点を加点する。

加点条件は、下記の通り。

- 対象となる大会は、国体、全日本選手権及びこれらに準ずる全国大会
- 対象となる競技は、国体の正式競技、公開競技及び野球
- 過去3年以内(平成24年4月1日以降)の実績であること。
- 指導対象者は、中学校以上の団体又は個人で、在籍する学校の部活動に所属していること。
- 1年以上直接指導した後の実績であること。
- 直接指導した期間内の実績であること。
- 指導者として、学校に正式に依頼又は承認された者に限ること。
- 実績や指導者として関わっている証拠書類を添付すること。
- 当該指導経験に係る試験区分を志願する場合に限ること。

##### ② スポーツ実績の加点対象を過去10年以内の実績に限定する。

実績に一定の期限を設け、現在に近い実績を評価するようにする。

##### ③ 加点の点数の引き下げ

- ・100点 ⇒ 50点 スポーツの分野での全国大会上位入賞、青年海外協力隊員等
  - ・50点 ⇒ 30点 スポーツの分野又は芸術・文化の分野で全国大会出場等
  - ・30点 ⇒ 20点 特別支援学校教員免許状(小中志願者)等
  - ・15点 ⇒ 10点 司書教諭の資格
- また、1人当たりの加点の上限を100点から50点に引き下げる。

#### (2) インターネットによる受験申込みの全面導入

民間の採用活動では一般的な手法であるインターネットを利用したシステムの導入。登録、出願、受験票の発行、合格発表等をインターネットを利用して行う。

3 平成28年度 愛媛県公立学校教員採用選考試験 第1次選考試験における加点制度について

分野	内容	試験区分					加点			
		小学校 教員	中学校 教員	高等学校 教員	特別支援 学校教員	養護教員	栄養教員	H27	H28	
1 スポーツ	選手として国際大会に出場	○	○	○				100点	→	50点
	選手として全国規模の大会で8位以内に入賞	○	○	○				100点	→	50点
	選手として全国規模の大会に出場 指導者として全国規模の大会に出場	○	○	○				50点	→	30点
2 芸術・文化	全国規模以上のコンクール・展覧会等で優秀な成績	○	○	○	○			50点	→	30点
	実用英語検定 1級合格	○	○	○	○			50点	→	30点
3 高い英語力	TOEFL iBT100点(PBT600点)以上	○	○	○	○			50点	→	30点
	TOEIC 860点以上	○	○	○	○			50点	→	30点
4 正しい日本語力	日本語検定 1級合格者	○	○	○	○			50点	→	30点
5 司書教諭	司書教諭の資格を保有	○	○	○	○			15点	→	10点
	特別支援学校免許状を保有	○	○					30点	→	20点
6 複数の教員免許状の取得	中学校・高等学校の理科、音楽又は外国語教諭の免許状を保有	○						30点	→	20点
	志願教科外教科の中学校教諭免許または小学校教諭免許状を保有		○					30点	→	20点
	中学校の理科の免許を保有			○				30点	→	20点
	情報又は福祉の高等学校教諭の免許状を保有			○				30点	→	20点
	「保健師」の免許保有者					○		30点	→	20点
7 その他	青年海外協力隊員として2年間程度の派遣	○	○	○	○			100点	→	50点
	(財)日本臨床心理士資格認定協会認定の臨床心理士の資格	○	○	○	○			100点	→	50点